

2026年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

英 語 【昼間・夜間主コース 一般選抜：前期日程】		
<p>大学入学共通テストでは十分に確かめることができない、英文の読解・内容把握、英語による表現・記述力等をみることに主眼を置いている。</p>		
	出題意図	評価ポイント
問題 1	<p>英文の読解力を試す上で、文章の内容を英語で説明できるだけの英語運用能力があるかどうかをみる。</p>	<p>英文内容を正しく理解し質問に解答する力、示唆的な表現が意味することを文脈から読みとる力、代名詞が指示するものを読みとる力、英語の意味を英語で説明する力を重要視した。</p>
問題 2	<p>英語で書かれた文章を正確に読み解く力を試しつつ、指定された解答を導く疑問文を英語で書かせる問題である。文章読解力に加え、コミュニケーションとして各種の疑問文を的確に作成するだけの英語運用能力があるかどうかをみる。</p>	<p>英文内容を正しく理解し、適切な疑問詞を用いて文法的にも正確な質問文を作成できているか、またその際に英語本文を単に書き写すのではなく質問の主旨に合った語彙選択ができているかを中心に評価した。</p>
問題 3	<p>日常生活のさまざまな場面で使われる対話に関して、文脈を適切に理解し、その文脈に応じて適切な文法を用い、自然な英語で会話文を作成する力をみる。</p>	<p>対話の流れを把握し、適切な文脈の意味理解と文脈に応じた英語で適切な受け応えができているかどうかを評価した。文法的に軽微な誤りも減点の対象となり、また文脈に合う適切な解答や質問の文が書かれていなければ文法的には正しくても得点とならない。</p>

	出題意図	評価ポイント
問題4	<p>大学のさまざまな分野で学ぶために必要な英作文力に関して、文体や体裁に気をつけながら、単語数を戦略的に考えて英語で文章を書く力を見る。</p> <p>(a) か (b) のいずれかを選択し、120～150 字の英文で解答する。</p> <p>(a) では、資金募集活動において、寄付金額とそれにかかる費用をあらわす二種類のグラフを参照して効果的に言及しながら、オンラインで寄付金を集める方が効率的である理由を的確に説明できるかどうかをみる。</p> <p>(b) では、インターネット上で使用される言語、ウェブサイトで使用される言語および地域ごとのインターネット利用者数をあらわす三種類のグラフを参照して効果的に言及しながら、オンライン上での英語の使用のされ方を的確に説明できるかどうかをみる。</p>	<p>(a) と (b) のいずれにおいても、適切な語彙や表現の使用および文法上の正確さを考慮しつつ、論理的に文章を作成できているかどうかをみた。</p> <p>したがって、問題文の単なる書き写しであっては作文と見なされないし、質問と無関係な作文は得点にならないことに留意すること。この問題では、綴りや句読点法の間違いを減点対象としつつ、受験者がどれだけ論理的に英語で表現できているかを重要視した。</p>